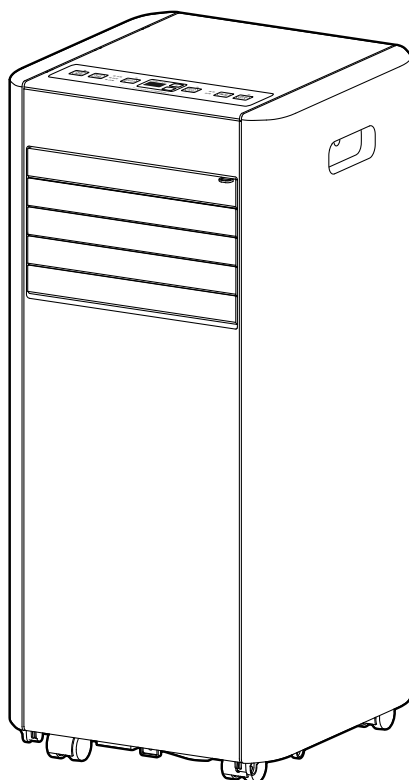


取扱説明書(WEB)

ポータブルクーラー〔室内・家庭用〕

型番:IPK-2805U



このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- ・ 一般家庭用以外でご使用にならないでください。
無償保証の対象外になることがあります。
- ・ この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ・ ご使用前に「[安全上の注意 P7](#)」を必ずお読みください。
- ・ WEB マニュアルについては、「[WEB マニュアルの使いかた P2](#)」をご確認ください。

この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

WEB マニュアルの使いかた

ここでは「WEB マニュアル」の使いかたを案内します。

当サイトは下記のブラウザでの使用を推奨しています。

- ・Microsoft Edge ブラウザ(最新版)
- ・Google Chrome ブラウザ(最新版)

◆WEB マニュアルについて

■スマートフォン



■パソコン



① メニュー一覧/検索 切替ボタン(スマートフォンのみ)

☰ をタップするとメニュー一覧/検索画面が表示されます。

✕ を押すと元の画面に戻ります。

② 製品名、型番

お問い合わせ時には、製品名と型番をご連絡お願いいたします。

③ ページ内リンク

選択すると、ページ内の該当情報が表示されます。

④ 関連ページリンク

選択すると、WEB サイトや WEB マニュアル内の該当ページが表示されます。

⑤ メニュー

選択すると、メニュー一覧が表示されます。検索タブと切り替えて使用します。

⑥ メニューリスト

メニュー一覧を表示させます。

⑦ 検索タブ

選択すると、目的の情報を検索できるようになります。メニュータブと切り替えて使用します。

◆検索について

■スマートフォン



■パソコン



⑧ フリーワード検索

キーワードを入力することで、目的の情報を検索することができます。

⑨ 検索リスト

検索した結果が表示されます。選択すると、WEB マニュアル内の該当ページが表示されます。

- ・ デザインおよび仕様は予告なく変更することがあります。
- ・ Microsoft Edge は Microsoft Corporation の商標です。
- ・ Google Chrome は Google LLC の商標です。

もくじ

ご使用の前に.....	7
安全上の注意.....	7
使用上の注意.....	14
各部の名称(本体).....	16
各部の名称(操作パネル).....	18
各部の名称(リモコン).....	19
付属品を確認する.....	20
よく見られているページ.....	22
運転前の準備.....	23
リモコンに乾電池を入れる.....	23
設置する.....	24
窓パネルの組み立てと取り付け.....	27
必要に応じて使用する.....	35
隙間用アタッチメントの使いかた.....	39
使いかた.....	42
冷風運転.....	42
除湿運転.....	44
送風運転.....	45
タイマー運転.....	46
おやすみ運転.....	47

風向調節.....	48
その他の機能.....	49
お手入れ.....	51
お手入れ時の注意.....	51
本体.....	52
エアフィルター -2 週に 1 回程度-.....	53
長期間使用しないときは.....	54
こんなときは.....	55
故障かな？と思ったら.....	55
エラー表示がでたら.....	58
下部排水口から排水.....	59
上部排水口から排水.....	60
アフターサービスとその他の内容.....	62
長期使用製品について.....	62
仕様.....	63
廃棄について.....	64
保証とアフターサービス.....	65
保証規定.....	66
冷媒に関する注意.....	67
お問い合わせ.....	68

ご使用の前に

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。

人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

→ [警告 P7](#)

→ [注意 P10](#)

図記号の意味

誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、以下のように区分しています。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
 注意	誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、財産の損害が発生するおそれがある内容を示しています。

お守りいただく内容を、区分して説明しています。

 分解禁止	 禁止	 指示を守る
 ぬれ手禁止	 電源プラグを抜く	 アース線接続



電源プラグ・電源コードは正しく使う

 ぬれ手禁止	ぬれた手で電源プラグの抜き差しや操作をしない 感電・やけど・けがの原因になります。
 禁止	- 電源コードを束ねて通電しない 過熱してやけど・火災の原因になります。電源コードは、必ずのばして使用してください。 - 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない ショートによる火災・感電の原因になります。電源コードが破損したときは、アイリスコール P68(☎ 電話をかける)へお問い合わせください。 - 電源コードを傷付けない - 電源コードをステーブルなどで固定しない 傷付ける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものを載せる、挟み込むなどしないでください。 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

	・ 延長コードの使用、たこ足配線はしない ・ 電源プラグを抜いて停止しない 火災・感電の原因になります。 ・ 持ち運びや収納時に電源コードを引っ張らない ・ 電源コードがつっぱった状態で使用しない 火災・感電の原因になります。
 必ず実施	・ 電源プラグのほこりは定期的に取り除く ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。 ・ 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む ショートによる火災・感電の原因になります。 ・ 屋内の壁コンセントで2口以上になっても単独で使用する 火災・感電の原因になります。

設置について

 禁止	・ 可燃性ガス(殺虫剤など)を吹きつけない、また、灯油・ガソリン・ベンジン・シンナー・塗料などの引火性のもの、爆発のおそれのあるものの近くでは使用しない 爆発・火災・故障・変形の原因になります。 ・ 暖房器具の周辺など、熱気が当たる場所では使用しない 故障・変形の原因になります。
 アースを接続	・ アースを取り付ける アースを取り付けることをおすすめします。 アースを取り付けない状態で製品に故障や漏電が発生すると感電のおそれがあります。 下記のような場所で使用する場合は必ずアースを取り付けてください。 - 湿気の多い場所 土間・コンクリート床・貯蔵室など - 水気のある場所 洗い場など水を扱うところ 水滴が飛び散るところ 地下室などの結露しやすいところ コンセントにアース端子が無い場合、アース工事(D 種設置工事)を販売店または電気工事店に依頼してください。 ベランダの手すりやガス管、水道管、避雷針、電話などのアースに接続しないでください。
 必ず実施	・ 梱包用ポリ袋は幼児の手の届かない場所に保管する 誤って被ると、窒息死する原因になります。

- ・ 付属品は、重量に耐える場所に確実に取り付ける。また、取り付けは必ず付属の窓パネルや指定の部品を使用し、正しく行う
取り付けが不十分だと、落下によるけがの原因になります。
- ・ 水気の多いところで使用する場合は、漏電遮断器を設置する
水気の多いところに設置する場合は、アースの他に漏電遮断器の設置が義務付けられています。
(ご家庭の分電盤に設置されていることがあります。)
詳しくは、お買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。

異常時には



- ・ 直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く
発煙・火災・感電のおそれがあります。

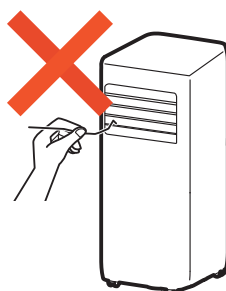
〔異常の例〕

- 内部に水・異物などが入った
 - 異常な音・振動やにおいがする
 - 変形したり、ひび割れしたりしている
 - 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
 - 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
 - 触れるとビリビリ電気を感じる
- ➡ 使用を中止し、お買い上げの販売店または[アイリスコール P68](#)(☎ [電話をかける](#))へお問い合わせください。

その他使用時の禁止事項



- ・ 吸込口・吹出口・排気口にピンや針金などの異物、または指を入れない
本体内部でファンが高速回転しているため、けがの原因になります。



- ・ 製品の分解や修理・改造をしない
火災・感電・けがの原因になります。
修理はお買い上げの販売店または[アイリスコール P68](#)(☎ [電話をかける](#))へお問い合わせください。



- ・ 本体を水につけたり、本体に水をかけない
火災・感電の原因になります。

 禁止	・ 工具を使った分解掃除や、内部の洗浄は自分で行わない 誤った方法で分解掃除や洗浄を行うと、破損して火災や感電の原因になります。 内部の洗浄は専門の業者に依頼してください。 修理はお買い上げの販売店またはアイリスコール P68(☎ 電話をかける)へお問い合わせください。
---	---

注意

リモコンの乾電池についての注意

 分解禁止	・ 分解しない 皮膚や衣服を損傷することがあります。
 禁止	・ 金属製の小物類と一緒に携帯・保管しない ショートして液もれや破裂の原因になることがあります。 ・ 指定以外の乾電池は使用しない 過熱・破裂・液もれにより、火災やけが、周囲を汚損する原因になることがあります。 ・ 乾電池は絶対に充電しない 破裂・液もれにより、火災・けが・やけどの原因になります。 ・ 乳幼児の手の届くところに置かない 誤操作による体調悪化、誤飲の原因になります。
 必ず実施	・ 乾電池を入れるときは、極性表示(プラス+とマイナス-の向き)に注意し、説明書の通りに正しく入れる 間違えると、破裂・液もれにより、火災やけが、周囲を汚損する原因になります。 ・ 長期間使用しないときはリモコンの乾電池を取り出しておく 液がもれて、火災やけが・周囲の汚損の原因になります。 液がもれた場合は、乾電池ケースに付いた液をよく拭き取ってから、新しい乾電池を入れてください。万一、もれた液が身体に付いたときは、水でよく洗い流してください。

使用時の注意事項

 禁止	・ 本体の上にものを載せない ・ 本体に洗濯物などをかけない 落下して、けがや火災の原因になります。また、風の流れをふさぐと、過熱して火災の原因になります。 ・ 吸込口・吹出口・排気口をふさがない 風通しが悪くなり、発熱・発火・故障の原因になります。 ・ 風の流れをさえぎるようなものを周囲に置かない 過熱して火災の原因になります。
---	---

 禁止	・ 屋外では使用しない 故障・感電の原因になります。 屋内あるいは準屋内(屋根があり直射日光や雨が当たらない場所)で使用してください。 ・ 障害物(カーテンなど)の近くや不安定な場所(傾斜がある場所など)では使用しない 本体転倒・事故・故障の原因になります。 ・ 押し入れや家具の隙間、机の下など狭い場所では使用しない 発火・故障の原因になります。 ・ 次のような場所では使用しない - ガスレンジや石油ストーブに直接風が当たる場所 - 温室やビニールハウスなど湿度の高い場所、雨や水しぶきがかかる場所 - 工場内や飲食店、厨房などの油のつきやすい場所 - 砂ほこり、綿ほこり、金属粉の多い場所 - 火花が散るような場所 - 加工油や防錆油、有機溶剤を使用している場所 感電・火災・破損・故障の原因になります。 ・ 煙や霧が出るくん煙タイプの殺虫剤を使うときは運転しない 本体内部に薬剤成分が蓄積し、その後の運転で放出されて、健康を害するおそれがあります。殺虫剤の使用後は、十分換気をしてから運転してください。
 禁止	・ 食品・医薬品・美術品・学術資料の保存、動植物の飼育や栽培など、業務・特殊用途に使用しない 本製品は家庭用として設計されています。業務・特殊用途に使用すると、保存品の劣化の原因になります。 ・ 長時間冷風を身体に当てない ・ 冷風温度を下げすぎない 特に、小さなお子様やお年寄りには注意してください。体調が悪化したり健康を害する原因になります。 ・ 動植物に直接風を当てない 害を与える原因になります。 ・ 風をストーブなどの燃焼器具に向けない 不完全燃焼や炎の飛散を引き起こし、一酸化炭素中毒や火災の原因になります。 ・ 床にワックスがけをするときは運転しない 内部にワックス成分が付着し、水もれの原因になります。ワックスがけの後は、十分に換気してから運転してください。
 禁止	・ 乳幼児や身動きできない方(病気やけが)は単独で使用しない 次のような方がご使用になる場合は、お手数でも周りの方が注意してください。 - 乳幼児、お子様、お年寄り、病気の方、身体の不自由な方 - 深酒や睡眠薬を飲まれた方 感電やけが、体調不良の原因になります。

 必ず実施	・ヒーターなどの燃焼器具と一緒に使う場合はこまめに換気する 換気が不十分な場合は、一酸化炭素中毒、酸素不足の原因になります。 ※本製品は、一酸化炭素などの有害物質を除去するものではありません。 ・本体の移動は必ず運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いて、内部の水を捨ててから行う。また、畳や傷のつきやすい床、凹凸のある場所、毛足の長いカーペットの場合、持ち上げて移動する 水もれして家財などをぬらしたり、漏電による感電・火災の原因になります。また、床を傷付けたり、けがの原因になります。
---	---

お手入れ時の注意事項

 禁止	・窓パネルを設置する際は不安定な台に乗らない 転倒してけがの原因になります。 ・本体内部の金属部に触れない けがをするおそれがあります。 ・本体を水洗いしない 漏電による感電の原因になります。
---	--

電源プラグ・電源コードは正しく使う

 プラグを抜く	・長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く 絶縁低下により、火災・感電の原因になります。 ・お手入れするときは、必ず運転を停止して、電源プラグを抜く けがの原因になります。 ・電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
---	--

異常時は

 必ず実施	・運転しても冷えないときは、販売店または修理専門業者に相談する 冷媒がもれているおそれがあります。冷媒自体は無害ですが、室内にもれて、他のガスと混合したり、火気に触れたりすると、有害な成分が発生する原因になります。 ・ポータブルクーラーを運転しても冷えないときは、以下について確認してください。 - お部屋が閉め切られていない - 窓パネル・排気ダクトが正しく取り付けられていない - 窓パネルのシャッターが開いていない - 室内の温度が高すぎる 上記を確認しても改善しない場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコール P68 (☎ 電話をかける)へお問い合わせください。
---	---

冷媒がもれているおそれがあります。冷媒自体は無害ですが、室内にもれて、他のガスと混合したり、火気に触れたりすると、有害な成分が発生する原因になります。

使用上の注意

- ・ ルームエアコンとは異なりますので、簡易的な冷房としてお使いください。
- ・ お部屋の広さによっては、十分に冷えない場合があります。
- ・ 排気ダクトや窓パネルは正しく取り付けて使用してください。
お部屋が冷えない原因になります。

■ ドレン水について

- ・ ドレン水とは、冷風運転や除湿運転時に発生する結露水のことです。
- ・ 本製品はノンドレン方式を採用しており基本的に排水する必要はありません。
ノンドレン方式とは運転時に発生するドレン水を内部で蒸発させ排気ダクトから排出する方式で、消費電力を抑えることができます。

■ 冷風・除湿運転時の仕様について

- ・ 室温が高温もしくは低温の場合に製品保護のため、冷風運転が自動で送風運転に切り替わることがあります。

■ エアフィルターが汚れていませんか

- ・ エアフィルターを掃除してください。(→お手入れ「[エアフィルター P53](#)」)
エアフィルターが汚れていると、冷気が内部にこもり水滴がもれる原因となります。

■ 設置について

- ・ テレビやラジオなどの AV 機器から 2 m以上離してください。
電波障害の原因になります。
- ・ 直射日光が当たる場所には設置しないでください。
本体内部の温度が上昇し、運転が停止する(→[エラー表示が出たら P58](#))おそれがありますので、直射日光が当たらない場所に移動させてください。
- ・ 窓パネルは、雨どいの真下を避け、強い風などにより窓から雨水が侵入しない場所に取り付けてください。

■ 使用について

- ・ エアフィルターを外した状態で使用しないでください。
本体内部にほこりを吸い込み、故障の原因になります。
- ・ 排気ダクトを延長しないでください。
同梱している排気ダクトに市販の排気ダクトなどを取り付けて、延長して使用することはできません。
能力低下を招いたり、安全装置が作動し、運転が継続できなくなる場合があります。

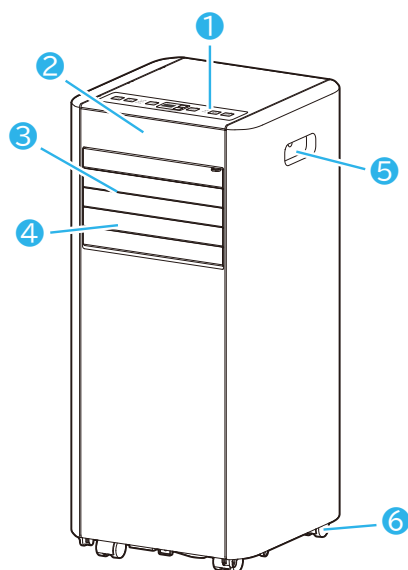
- ・ 上部排水口ゴム栓、下部排水ゴム栓は、正しく取り付け、取り外しを行ってください。
水もれの原因になります。
- ・ 騒音に注意してください。
設置場所や本製品自体の振動などにより、騒音が発生する場合があります。
 - 排気口からの風の騒音
 - 排気口からの風が近傍のものに当たったときの騒音
 - 不安定な場所に設置したときの振動による騒音
 - コンプレッサーの振動による騒音
- ・ 雨や風が強いときは、窓パネルの使用を中止し、窓パネルを取り外してください。
室内を汚す原因または破損の原因になります。

■ 知っておいていただきたいこと

- ・ リモコンは落したり水がかかったりすると、送信できなくなることがあります。
- ・ リモコンの受信距離は正面で約 6m です。室内に電子点灯形(インバーター形)の照明器具がある場合は、受信距離が短くなることがあります。
- ・ リモコンの送信部を本体正面に向けて操作してください。本体正面以外へ向けると動作しないことがあります。
- ・ リモコンの送信部と本体正面のリモコン受信部との間に障害物があると作動しないことがあります。
- ・ リモコン操作をしても動作しない場合、もしくは動作が正常でない場合は、乾電池を交換してください。
- ・ 新しい乾電池と古い乾電池、もしくは種類の違う乾電池を混ぜて使わないでください。
- ・ 本製品は発電機の電源には対応していませんので、必ず商用電源を使用してください。
- ・ 落雷のおそれのあるときは運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。
落雷の程度によっては、故障の原因になります。

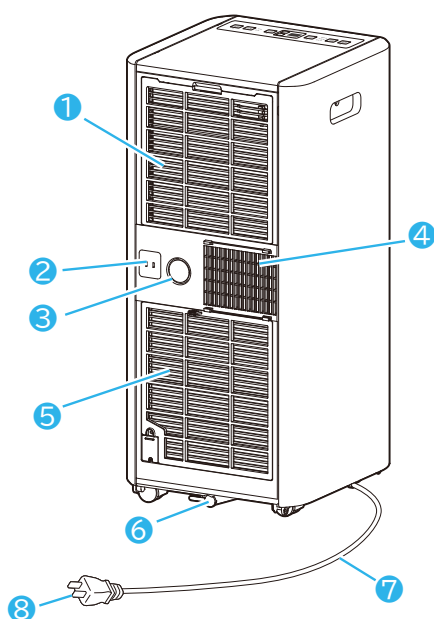
各部の名称(本体)

—正面



- ① 操作・表示部
- ② リモコン受信部
- ③ 吹出口
- ④ ルーバー
- ⑤ 取っ手
- ⑥ キャスター

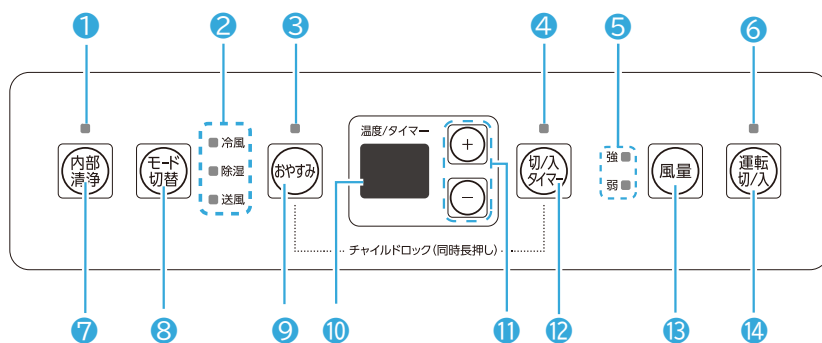
—背面



- ① 吸込口(エアフィルター付き)
- ② 電源プラグホルダー※
- ③ 上部排水口(上部排水口ゴム栓)
- ④ 排気口
- ⑤ 吸気口(エアフィルター付き)
- ⑥ 下部排水口(下部排水口ゴム栓)
- ⑦ 電源コード
- ⑧ 電源プラグ

※電源プラグを穴に差し込み固定する

各部の名称(操作パネル)

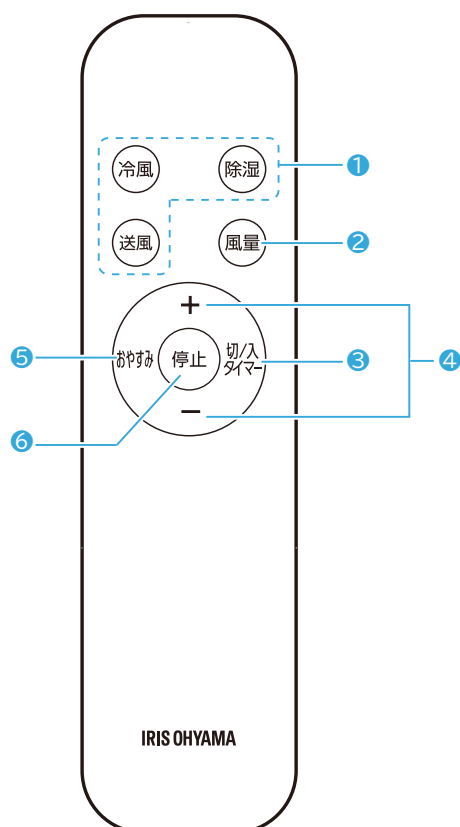


- ① 内部清浄ランプ
- ② モードランプ(冷風／除湿／送風)
- ③ おやすみランプ
- ④ 切／入タイマーランプ
- ⑤ 風量ランプ(強／弱)
- ⑥ 運転切／入ランプ
- ⑦ 内部清浄ボタン(内部清浄運転を開始します)
- ⑧ モード切替ボタン(運転の種類を選びます)
- ⑨ おやすみボタン(冷えすぎを防止するおやすみ運転をします)
- ⑩ 設定温度／タイマー時間／エラー表示／モード表示※
- ⑪ 温度／タイマーボタン(⊕設定温度を上げる／時間を進める、⊖設定温度を下げる／時間を戻す)
- ⑫ 切／入タイマーボタン(切、入タイマーを選びます)
- ⑬ 風量ボタン(風量を選びます)
- ⑭ 運転切／入ボタン(押すと「入」、もう一度押すと「切」)

※チャイルドロック(**LO**)のみ表示

■チャイルドロック: ⑨おやすみボタンと⑫切／入タイマーボタンを 3 秒同時長押しする

各部の名称(リモコン)



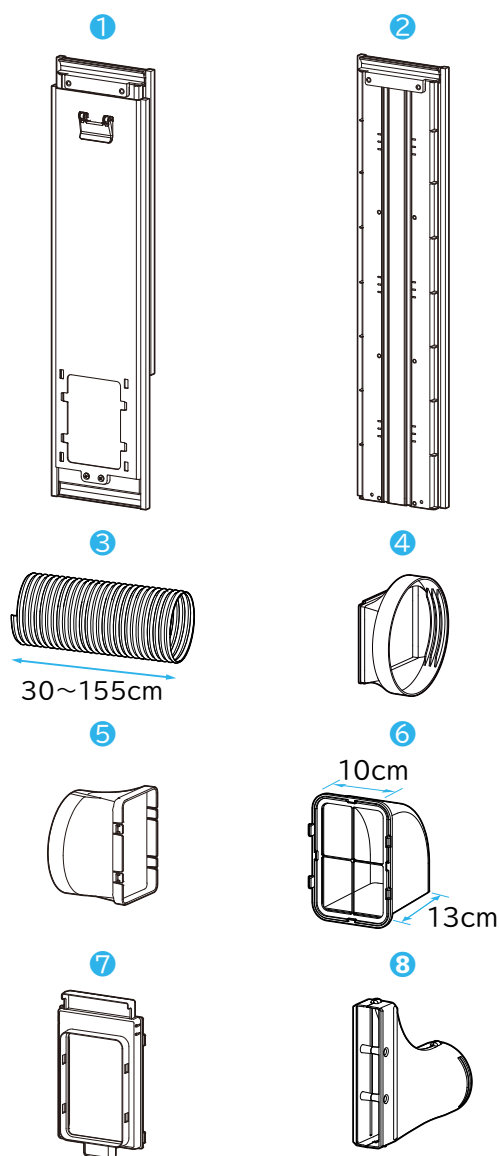
- ① モードボタン(押すと運転スタート)
- ② 風量ボタン(風量を選びます)
- ③ 切/入タイマーボタン(切、入タイマーを選びます)(→[タイマー運転 P46](#))
- ④ 温度/タイマーボタン(+温度を上げる/時間を進める、-温度を下げる/時間を戻す)
- ⑤ おやすみボタン(冷えすぎを防止する、おやすみ運転をします)(→[おやすみ運転 P47](#))
- ⑥ 運転停止ボタン(押すと運転を停止)

関連ページ

- ・ [各部の名称\(操作パネル\) P18](#)

付属品を確認する

—窓パネルセット



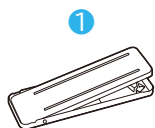
- ① 窓パネル A+B×1 ※購入時は 2 枚が組み合わせてあります。
- ② 窓パネル C×1
- ③ 排気ダクト×1
- ④ ダクトエンド A×1
- ⑤ ダクトエンド B×1
- ⑥ 雨除けカバー×1(虫よけ網付き)
- ⑦ シャッター+シャッターレール×1 ※購入時は重ねた状態でテープ止めされています。
- ⑧ 隙間用アタッチメント

—排水時に使用するもの



- ① 排水ホース×1

—必要に応じて使用するもの



- ① 補助鍵×1



- ② キャスター受け×4

—付属品



- ① リモコン×1



- ② 乾電池×2

よく見られているページ

- ・ [付属品を確認する P20](#)
- ・ [設置する P24](#)
- ・ [窓パネルの組み立てと取り付け P27](#)
- ・ こんなときは
 - － [下部排水口から排水 P59](#)
 - － [上部排水口から排水 P60](#)

運転前の準備

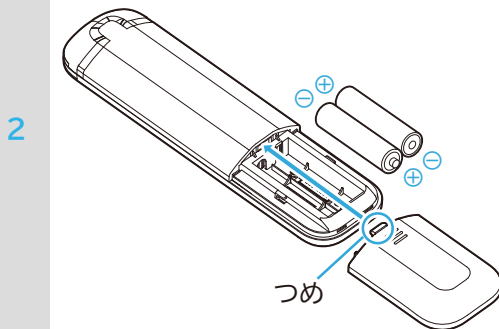
リモコンに乾電池を入れる

新しい乾電池(単 4 形乾電池×2 本)を用意し交換してください。

裏ぶたを開け、乾電池を入れ替える

1 裏ぶたの凹凸を押さえながら下にずらして開ける

古い乾電池を取り出し、 $\oplus$ と $\ominus$ の向きを合わせて、新しい乾電池を入れる



3 裏ぶたをしっかり閉める

■ 乾電池について

- ・ 液もれや破損によるけがや故障を避けるため、長期間使用しないときは、取り出してください。
- ・ 受信しにくくなったり、リモコンの表示が薄くなりましたら、2 本同時に新しい単 4 形乾電池と交換してください。
- ・ 種類や使用状況によって、使用期間が短くなることがあります。
- ・ 同梱されている乾電池は動作確認用ですので早く消耗することがあります。

ご注意ください

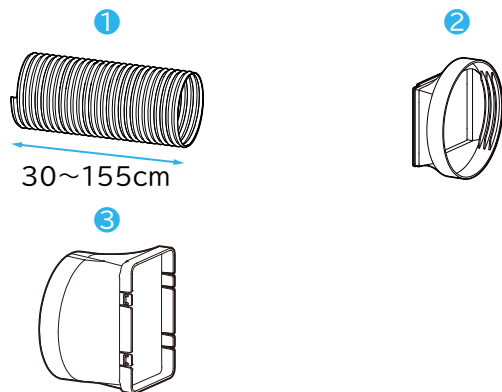
乾電池を誤って取り扱うと、破裂・液もれ・やけど・周囲の汚損の原因になります。「リモコンについての注意」をよく読んで使用してください。

- ・ 液がもれて目に入ったときは、こすらず、すぐに水で十分に洗い、医師の治療を受けてください。
- ・ 新旧、異種の乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ・ 乾電池交換時は、全設定が初期設定に戻ります。乾電池交換時は、再度設定を行ってください。

設置する

－ 組み立てと取り付けかた

- ・ あらかじめ、付属の排気ダクト、ダクトエンド A・B を用意してください。

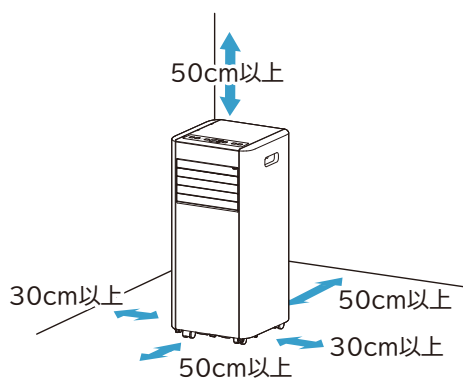


- ① 排気ダクト×1
- ② ダクトエンド A×1
- ③ ダクトエンド B×1

設置する

！お願い

- ・ 必ず 2 人以上で設置・移動を行ってください。
- ・ 効率よく運転するために下図のスペースを確保してください。
 - ※ 平らでしっかりとした床面に設置してください。
 - ※ 上方の棚などから物が落ちない場所に設置してください。

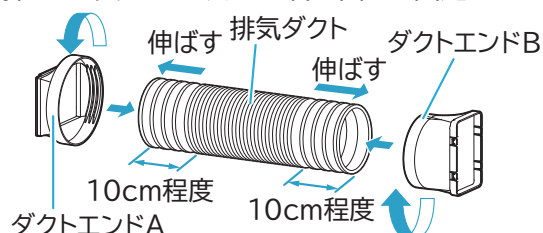


排気ダクトを取り付ける

！お願い

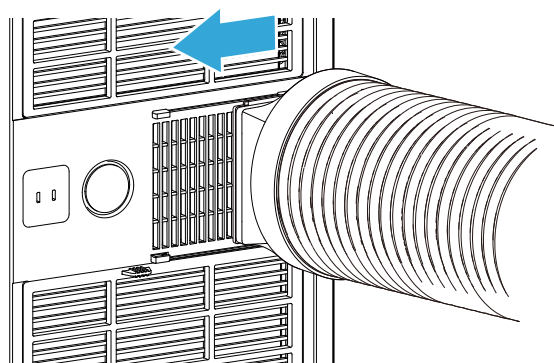
- 排気ダクトは排気口に必ず取り付けご使用ください。
排気ダクトを取り付けずに使用すると、排気の一部が吸気に戻り、能力が低下することがあります。
- 排気ダクト内の金属ワイヤーや排気ダクト端面の取り扱い時は、けがをしないようご注意ください。
- 排気ダクトを延長しないでください。
同梱している排気ダクトに市販の排気ダクトなどを取り付けて、延長して使用することはできません。
能力低下や安全装置が作動し、運転が継続できなくなる場合があります。

1. 排気ダクトの両端を 10cm 程度伸ばして、ダクトエンド A・ダクトエンド B を排気ダクトに挿入し、奥まで 5 周以上右に回して固定してください。



2. ダクトエンド A を排気口の溝に差し込んで、固定されるまで横に押し込んでください。
※ 排気ダクトを外すときは、ダクトエンド A を逆の方向に横に押して外してください。

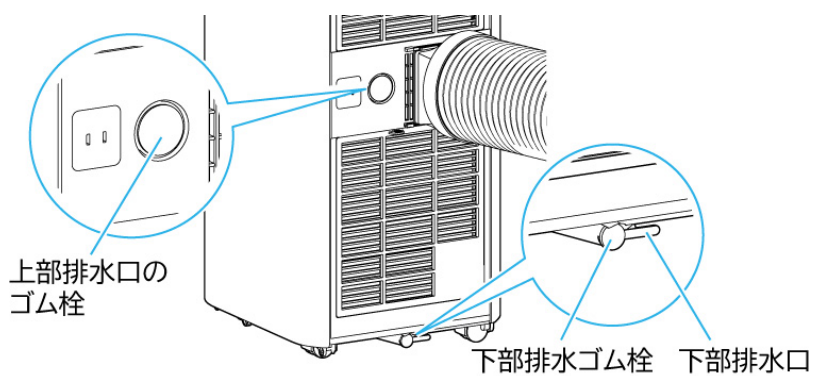
横に押し込む



3. 排気ダクトを適当な長さに伸ばします。
排気ダクトを調節するときは、ダクトエンド A・ダクトエンド B の根元に力がかからないように、必ず手を添えて行ってください。

上部排水口のゴム栓、下部排水ゴム栓がそれぞれ上部、下部排水口に差し込まれていることを確認する

3



関連ページ

- [付属品を確認する P20](#)
- [窓パネルの組み立てと取り付け P27](#)
- [必要に応じて使用する P35](#)

窓パネルの組み立てと取り付け

組み立てと取り付けかたは、当社 WEB サイト内の動画でもご確認いただけます。



<https://www.youtube.com/watch?v=Yno21itTuhY&t=3s>

窓パネルの組み立てと取り付け時のご注意

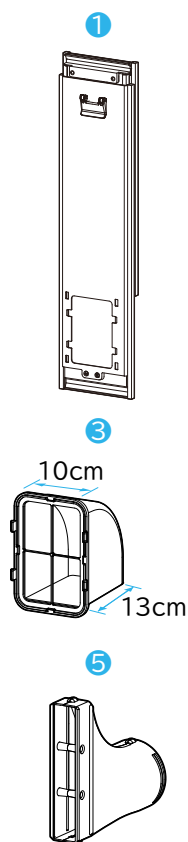
- ・ 窓パネルを使用することで、効率的に屋外への排気を行うことができます。
※ 窓パネルを使用しない場合は、排気の位置に注意してください。
- ・ 雨や風が強いときは、必ず窓パネルの使用を中止し窓パネルを取り外してください。
- ・ シャッターを閉じたままで、本体を運転しないでください。
うまく排気できず、故障の原因になります。
- ・ 外出するときは、窓パネルを外し、窓を閉めて窓自体の鍵をかけてください。
- ・ 組み立てや取り付けは、周囲の安全を確認してから行ってください。
- ・ 排気口からの風切り音や、本体の振動などにより騒音が発生する場合があります。
- ・ 格子のない指定サイズの引き違い窓に取り付けできます。
- ・ 雨除けカバーは必ず取り付けてください。

注意

- ・ 窓パネルの取り付けは、窓パネルの重量に耐える場所に、確実に取り付けてください。
取り付けが不完全な場合、窓パネルの落下によるけがの原因になります。
- ・ 取り付けは、必ず付属の窓パネルや指定の部品を使って正しく取り付けてください。
- ・ 窓パネルの移動や再設置をするときは、必ず正しく取り付けられていることを確認してください。
取り付け方法に不備があると窓パネルの落下によるけがの原因になります

— 組み立てと取り付けかた

- ・ 付属の窓パネルセットを用意してください。



- ① 窓パネル A+B×1 ※購入時は 2 枚が組み合わせてあります
- ② 窓パネル C×1
- ③ 雨除けカバー×1(虫よけ網付き)
- ④ シャッター+シャッターレール×1 ※購入時は重ねた状態でテープ止めされています
- ⑤ 隙間用アタッチメント

1

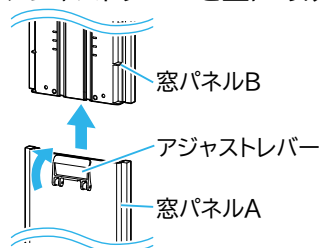
窓の高さを測り、使用する窓パネルを決める

- ・ 窓パネルは、窓の高さが 75cm～145cm までの対応になります。
- ・ 75cm～115cm までは、窓パネル A+B の 2 枚を使用し、115cm～145cm までは、窓パネル A+C の 2 枚を使用してください。このとき、必ず 2 枚の窓パネルが 6cm 以上重なるようにしてください。

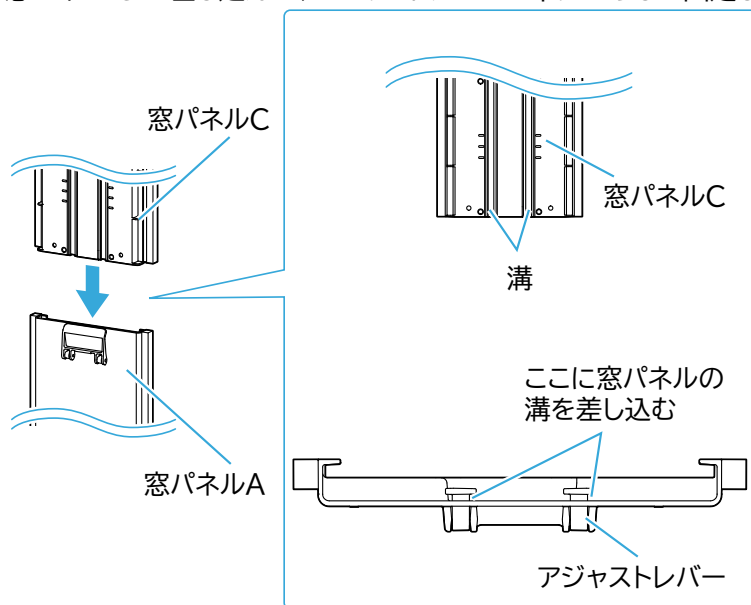
窓パネル A+C(115cm～145cm)の組み合わせにするには

- ・ 購入時は、窓パネル A+B の組み合わせになっています。窓パネル A+C の組み合わせにするには、以下の手順にしたがって窓パネル B を C に変更してください。

1. アジャストレバーを上にあげて、窓パネル B を取り外してください。

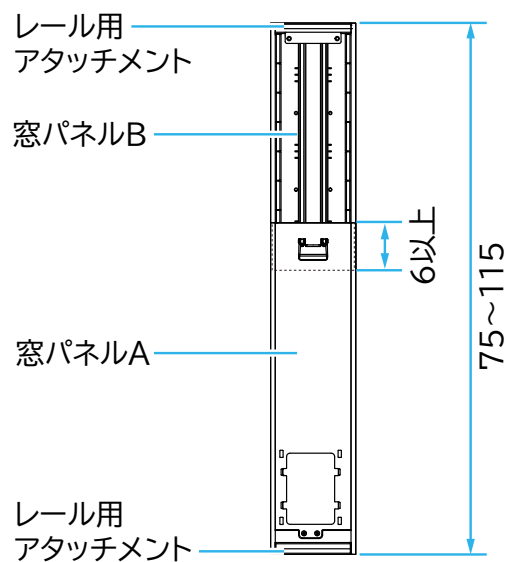


2. 窓パネル C を差し込んで、アジャストレバーを下におろして固定してください。

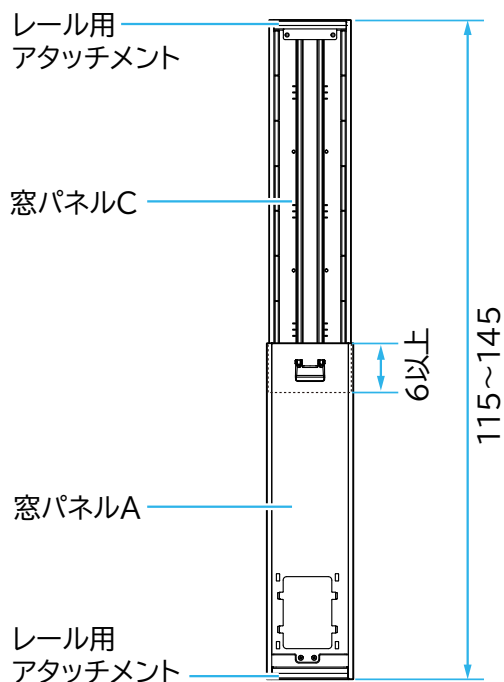


<窓パネルセット寸法> 単位 cm

窓パネル A+B で使用する場合

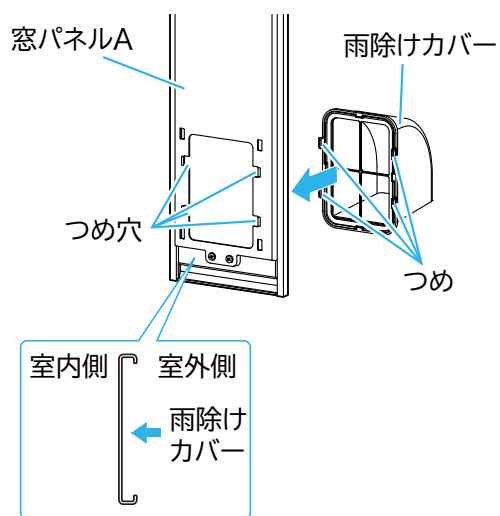


窓パネル A+C で使用する場合



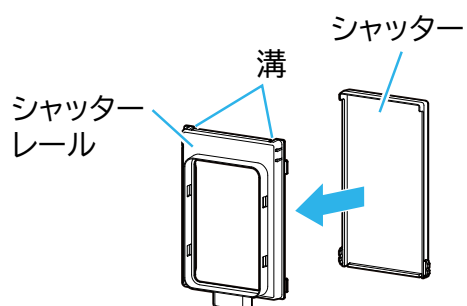
雨除けカバーを取り付ける

- 雨除けカバーのつめを、窓パネル A のつめ穴に合わせて、「カチッ」というまで差し込んでください。

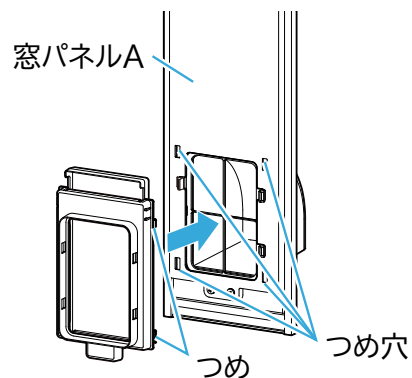


シャッターを取り付ける

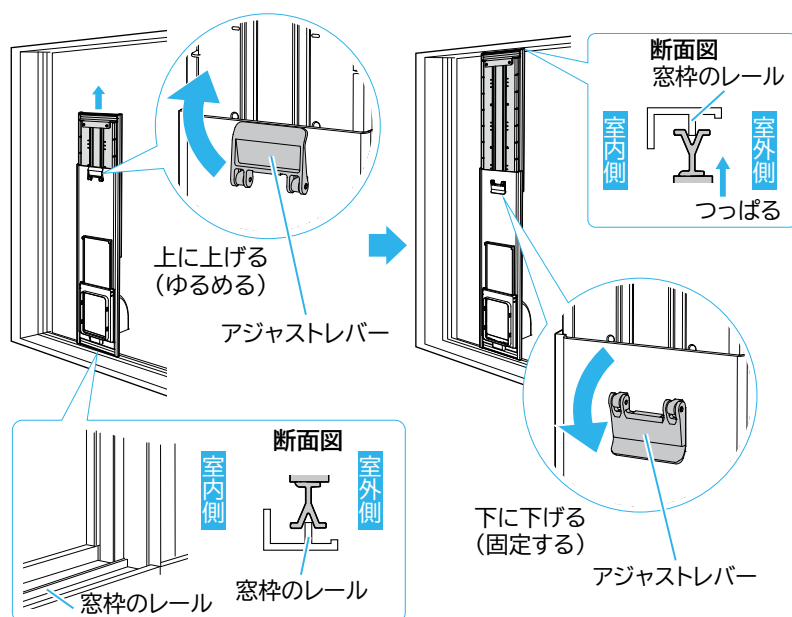
- シャッターとシャッターレールを溝に合わせて重ねてください(購入時は重ねた状態でテープ止めされているので、重ねたままテープをはがしてください)。



2. シャッターを重ねたまま、シャッターレールのつめを窓パネル A のつめ穴に合わせて、「カチッ」というまで差し込んでください。



窓パネルを窓枠のレールに合わせて差し込み、固定する



4

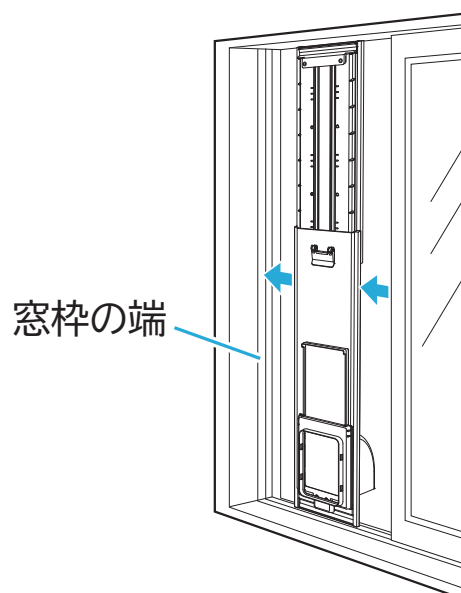
！お願い

- ・ 必ず窓の戸と同じレールに取り付けてください。
- ・ しっかりと上下につっぱりください。

窓パネルを窓枠に隙間なく寄せて、窓を閉める

- ・ 窓の戸で押して、窓のレールと平行に移動させるとスムーズに移動できます。

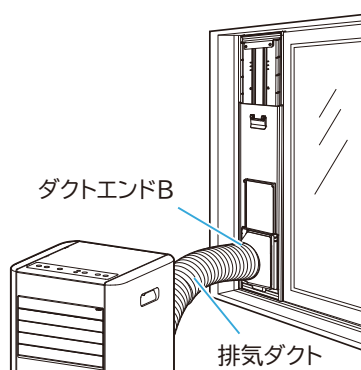
5



排気ダクトを窓パネルに取り付ける

- ・ 取り付けが不十分だと、落下によるけがの原因になりますので、注意してください。
- ・ ダクトエンド B を窓パネルの穴に差し込むとき、ダクトエンド B の向きに気を付けて、サッシにダクトエンド B が当たらないように注意してください。

6



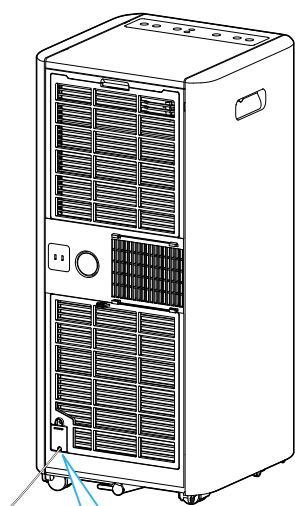
7

必要に応じて、補助鍵、キャスター受けを使用する
シャッターを開閉する
(→[必要に応じて使用する P35](#))

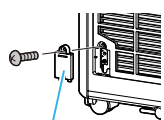
8

アース線を取り付ける

- ・ アースが必要な場合は、アース線を取り付けてください。

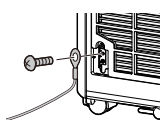


ねじを外して、
アースカバーを外す

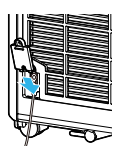


アースカバー

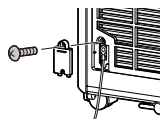
ねじを外し、アース線を
アース板に取り付ける



アースカバーの下側
凸部を凹みへ差し込む

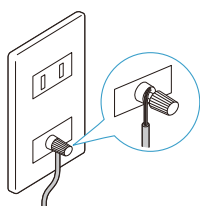


アースカバーをねじで
固定する

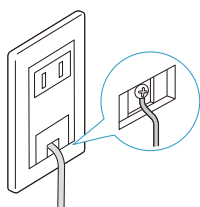


アース端子付きコンセントがある場合

- ・ アース線先端の端子を、コンセントのアース接続端子に差し込んで固定します。



- ・ ふた付きの場合は開けて接続してください。



- ・ コンセントの差し込みがゆるいときは、そのコンセントを使用しないでください。
電源プラグの発熱・発火の原因になります。

アース端子付きコンセントがない場合

- ・アース棒の設置が必要です。販売店または電気工事店に相談してください。

警告

- ・ガス管、水道管、避雷針、電話やベランダの手すりなどのアースに接続しないでください。感電の原因になります。

電源プラグをコンセントに差し込む

！ お願い

- ・移動させるときは、必ず運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いて、上部排水口と下部排水口からドレン水を捨ててから行ってください。(排水の方法は「[下部排水口から排水 P59](#)」、「[上部排水口から排水 P60](#)」をご参照ください。)取り外した上部排水口ゴム栓、下部排水口ゴム栓は元通りに取り付けてください。

関連ページ

- ・ [付属品を確認する P20](#)
- ・ [設置する P24](#)
- ・ [必要に応じて使用する P35](#)

必要に応じて使用する

→ [補助鍵について P35](#)

→ [シャッターの使いかた P37](#)

→ [キャスター受けについて P38](#)

ー補助鍵について

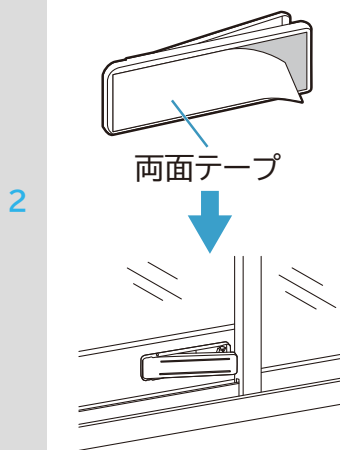
窓パネルを使用するときは、必要に応じて補助鍵を取り付けてください。

補助鍵使用時の注意

- ・ 盗難・事故などの補償はできません。
- ・ 補助鍵を取り付けできない窓枠もありますが、ご了承ください。
- ・ 戸のすき間は 4mm 以上 10mm 以下でご使用ください。
- ・ 取り付け後、粘着テープがサッシ枠に完全に接着されるまで、1 日ほど放置してからご使用ください。

1 サッシ枠の取り付け場所に油分や汚れを十分に取り除く

両面テープを外して、手前側の窓端付近に取り付ける

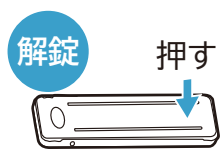


3 補助鍵が閉じた(平らな)状態で、窓がスムーズに開閉するかを確認する

※スムーズに開閉しない場合は、ご使用にならないでください。

押して施錠、開錠をする

4



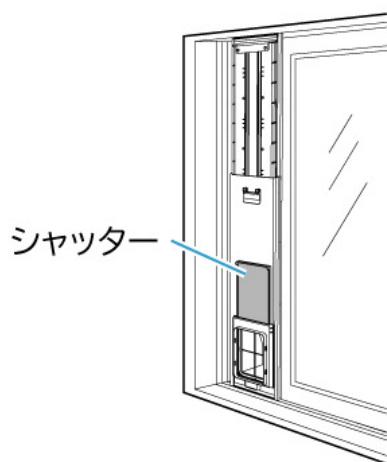
—シャッターの使いかた

排気ダクトを使用しない、または運転しないとき、シャッターを閉じることで、室外からのにおいやほこりなどが、部屋へ入らないようにできます。

運転時はシャッターを開けて使用してください。シャッターが閉まっている状態で運転した場合、お部屋が冷えません。また、うまく排気できず、故障の原因になります。

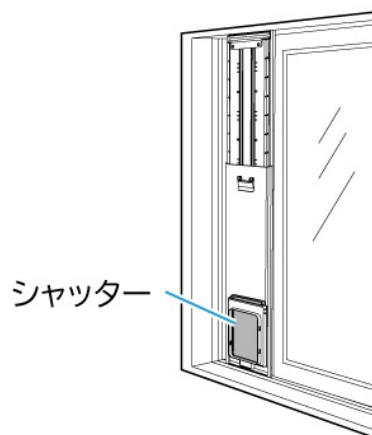
・ 運転するとき(開状態)

ロックするまでシャッターを上スライドする。



・ 運転しないとき(閉状態)

ロックを外し、シャッターを下にスライドする。

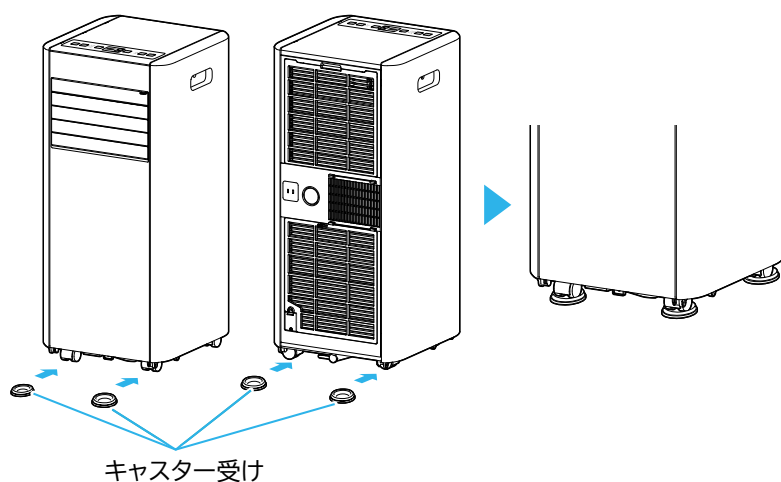


— キャスター受けについて

本製品を長時間同じ場所で使用すると、床に傷がついたり、床の材質によってはキャスターの跡がついたりすることがあります。必要に応じてキャスター受けをご使用ください。

キャスター受け設置時の注意

- ・ 内部の水を捨ててから、キャスター受けを設置してください。
水もれの原因になります。
- ・ キャスター受けを設置するときは、本体を転倒させないように注意してください。
けがや、床または家具などを傷つける原因になります。



関連ページ

- ・ [設置する P24](#)
- ・ [窓パネルの組み立てと取り付け P27](#)

隙間用アタッチメントの使いかた

組み立てと取り付けかたは、当社 WEB サイト内の動画でもご確認いただけます。

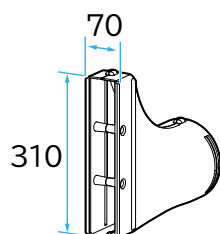


<https://youtu.be/B8gXUYiwImI>

室内換気時のご注意

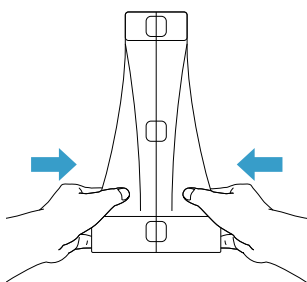
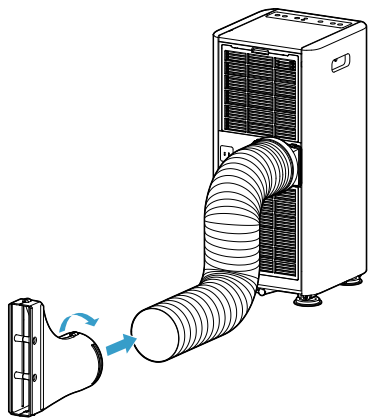
- ・ 室外に排気できない場合は、廊下等に面したドアや引き戸に挟んで排気を行ってください。
- ・ 強く扉を閉めると破損することがありますのでご注意ください。
- ・ 熱がこもりやすい場所でのご使用は、おすすめできません。

隙間用アタッチメント

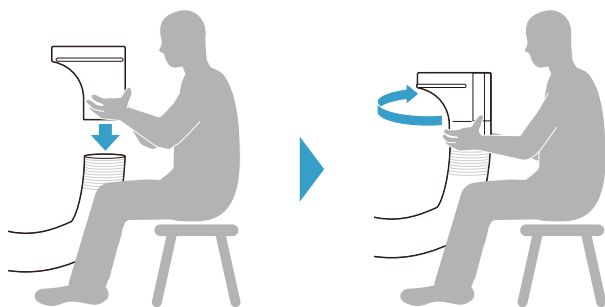


隙間用アタッチメントをダクトに取り付ける

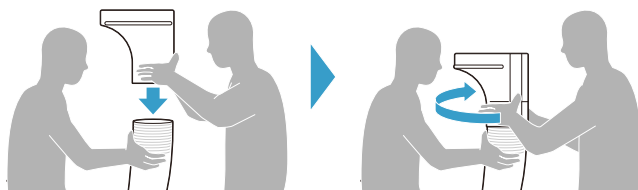
- ・ 隙間用アタッチメントをダクトに回しながら取り付ける
※隙間用アタッチメント左右のつめが外れる場合があるため、ダクトへ取り付ける部分を両手で押さえながら取り付けてください。
※隙間用アタッチメントは一周回すと取り付けられます。回し過ぎると隙間アタッチメントに負荷がかかり外れてしまう場合があります。



1人で取り付ける場合は、脚などで挟んで固定する。

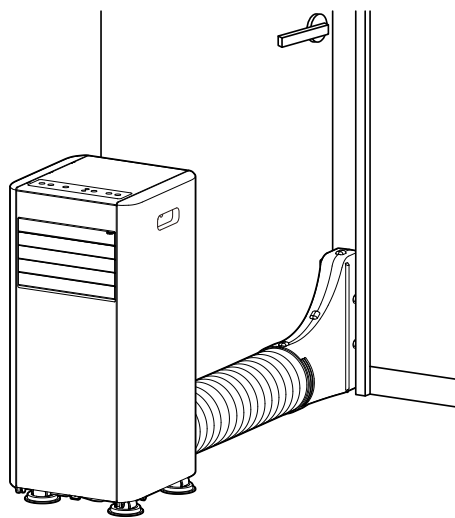
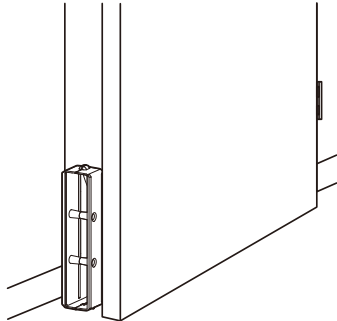


2人で取り付ける場合



ドアおよび引き戸に取り付ける

- ・ 隙間用アタッチメントをドアおよび引き戸へ挟み固定する
※ポータブルクーラーのダクトに余裕を持たせた位置に設置してください。



2

関連ページ

- ・ [付属品を確認する P20](#)
- ・ [設置する P24](#)
- ・ [窓パネルの組み立てと取り付け P27](#)
- ・ [必要に応じて使用する P35](#)

使いかた

冷風運転

冷風運転時のご注意

- ・ 温度／タイマーボタン(-/+)を 1 回押すごとに 1℃変化します。設定温度と実際に出ている冷風の温度は異なります。
- ・ 経済的な使いかたとして 26℃～28℃に設定することをおすすめします。
- ・ 設定温度は、7℃～30℃です。
- ・ ご使用の環境によっては、設定温度まで室温が下がらないことがあります。
- ・ お部屋の温度よりも低い温度にセットしてください。お部屋の温度よりも高い温度にセットした場合は、冷風運転をしません。(ファンは連続運転をしますが、冷風は出ません。)
- ・ 一度運転を停止し、再度冷風運転を再開した場合、設定温度は前回設定した温度になっています。

冷風・除湿運転時の仕様について

- ・ 室温が高温もしくは低温の場合に製品保護のため、冷風運転が自動で送風運転に切り替わることがあります。

あらかじめ、以下の 2 点を確認してから使用してください。

- ・ 上部排水口・下部排水口が閉まっていること
- ・ 窓パネルのシャッターが開いていること

1 本体の  を押してから  を押し、冷風に合わせる
またはリモコンの  を押す

- ・ 本体に運転モード、風量設定、現在設定温度が表示されます。

2 本体の  /  またはリモコンの  /  を押して、温度を調節する

- ・ 1 回押すごとに 1℃変化します。

3 本体の  またはリモコンの  を押して風量を選ぶ

- ・ ボタンを押すたびに、風量が変わります。

本体表示ランプ



— 運転を停止するには

- 運転中に、本体の  またはリモコンの  を押してください。

除湿運転

除湿運転時のご注意

- ・ 設定温度の変更はできません。
- ・ 風量は変更はできません。

冷風・除湿運転時の仕様について

- ・ 室温が高温もしくは低温の場合に製品保護のため、冷風運転が自動で送風運転に切り替わることがあります。

あらかじめ、以下の 2 点を確認してから使用してください。

- ・ 上部排水口・下部排水口が閉まっていること
- ・ 窓パネルのシャッターが開いていること

1

本体の  を押してから  を押し、除湿に合わせる
またはリモコンの  を押す

2

本体の またはリモコンの

- ・ 本体に運転モードが表示されます。(風量は変更はできません。)

— 運転を停止するには

- ・ 運転中に、本体の  またはリモコンの  を押してください。

送風運転

送風運転時のご注意

- ・ 設定温度の変更はできません。

あらかじめ、以下の 2 点を確認してから使用してください。

- ・ 上部排水口・下部排水口が閉まっていること
- ・ 窓パネルのシャッターが開いていること

1

本体の  を押してから  を押し、送風に合わせる
またはリモコンの  を押す

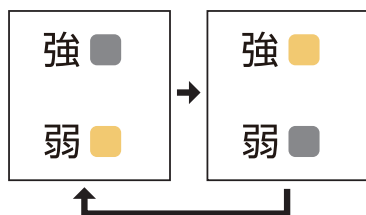
- ・ 本体に運転モード、風量設定が表示されます。

2

本体の  またはリモコンの  を押して、風量を選ぶ

- ・ ボタンを押すたびに、風量が変わります。
風量は、弱・強の二段階で切り替わります。
※自動風はありません。

本体表示ランプ



— 運転を停止するには

- ・ 運転中に、本体の  またはリモコンの  を押してください。

タイマー運転

設定した時間が経過すると自動的にタイマー運転します。

タイマー運転時のご注意

- ・ 切タイマーと入タイマーは同時にセットできません。
- ・ 切タイマーは運転停止中には設定できませんので、運転中に切タイマー設定をしてください。
- ・ 入タイマーは運転中には設定できませんので、運転を停止させてから、入タイマー設定をしてください。

1 切タイマーは運転中、入タイマーは運転停止中に、本体の  またはリモコンの  を押す

2 本体の  /  またはリモコンの  /  を押して、表示部が点滅中に時間を設定する

- ・ お好みの時間に設定してください。(最小 0.5 時間、最大 24 時間までです。)
- ・ 本体で設定中は切／入タイマーランプが点滅します。
- ・ 1 回押すごとに 10 時間までは 0.5 時間、10 時間以上は 1 時間ずつ変化します。

3 本体の  またはリモコンの  をもう一度押す

- ・ タイマー運転を開始します。
- ・ 本体の切／入タイマーランプが点灯します。
- ・ 何もボタンを押さなくても、約 5 秒後に切／入タイマーランプは点灯し、切タイマー／入タイマーが設定されます。

タイマー運転を取り消すには

- ・ 本体の  またはリモコンの  を押してください。本体の切／入タイマーランプが消灯します。

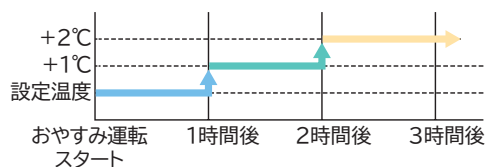
おやすみ運転

おやすみ運転時のご注意

- ・ おやすみ運転は冷えすぎ防止運転であり、自動的に運転を停止するタイマー運転ではありません。
- ・ おやすみ運転は冷風運転時に設定できます。

冷風運転中に本体の  またはリモコンの  を押す

- ・ 本体のおやすみランプが点灯します。
- ・ おやすみ運転をすると、セットして約 1 時間後、設定温度を 1℃アップさせ、さらに 1 時間後(おやすみ運転をセットして 2 時間後)設定温度をもう 1℃アップします。設定温度が 30℃より高くなることはありません。



- ・ その後は、2℃アップした設定温度で運転を続けます。

- ・ おやすみ運転中に本体操作パネルまたはリモコンで設定温度を変更した場合、おやすみ運転は一度リセットされ、その設定温度からおやすみ運転を再開します。

— おやすみ運転を取り消す

- ・ もう一度本体の  またはリモコンの  を押すと、本体のおやすみランプが消灯し、おやすみ運転が取り消されます。

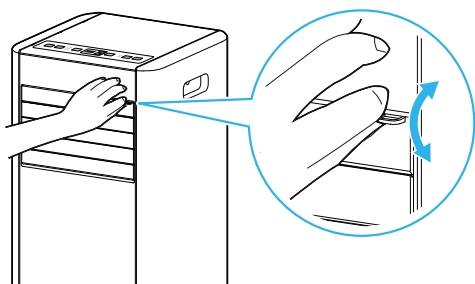
風向調節

風向調節時のご注意

- ・ 吹出口にピンや針などの金属物や、指を入れない。
内部でファンが高速回転しているため、けがの原因になるおそれがあります。

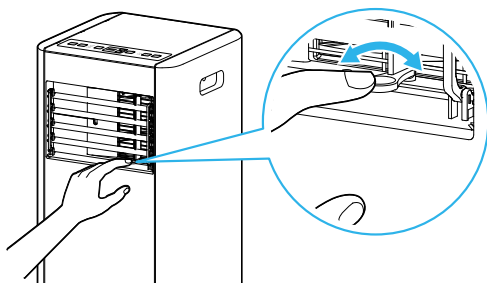
— 上下方向の調節をする場合は

- ・ 一番上のルーバー右上のつまみを動かして調節します。



— 左右方向の調節をする場合は

- ・ 内側にある縦のルーバーを動かして調節します。



その他の機能

→ [内部清浄機能の設定 P49](#)

→ [チャイルドロック P50](#)

内部清浄機能の設定

- ・ 内部清浄は本体もしくはリモコン操作により設定できます。
- ・ 内部清浄は、約 60 分間ファンをまわして本体内部の熱や湿気を吐き出す機能です。

本体の  を押す

- ・ 内部清浄運転ランプが点灯します。
- ・ 約 60 分間内部清浄運転をした後、自動的に停止します。

 点灯



内部清浄運転中

- ・ 本体の  を押すと、直前の設定モードで運転を開始します。
- ・ もう一度内部清浄機能の設定を行うと、運転時間がリセットされ、改めて約 60 分間運転します。

内部清浄を取り消す

- ・ 本体の  もしくはリモコンの  を押すと、内部清浄機能の設定が取り消されます。
- ・ 切タイマー中に内部清浄をセットすると、切タイマー運転完了後に内部清浄運転を開始します。
- ・ 入タイマー中に内部清浄を開始した場合は、入タイマーは継続されます。

※ 入タイマーによる運転開始時刻に内部清浄機能が作動している場合、内部清浄運転終了後に入タイマーによる運転が開始します。

—チャイルドロック

- ・ チャイルドロック中は、チャイルドロック取り消しの操作以外は動作しません。
- ・ リモコンにチャイルドロックはかかりません。
- ・ 停止中はチャイルドロックはかかりません。
- ・ 電源プラグを抜くとチャイルドロックは取り消されます。

本体の  /  ボタンを同時に 3 秒間長押しする

- ・ 本体表示部に「」が 3 回点滅し、その後「」表示は消灯します。



チャイルドロック設定中

- ・ チャイルドロック取り消しの操作以外の操作をした場合、本体表示部に「」が 3 回点滅し、その後「」表示は消灯します。

設定を取り消す

- ・ もう一度本体の  /  ボタンを同時に 3 秒間長押しすると、チャイルドロックは取り消されます。

お手入れ

お手入れ時の注意

使用後は機能低下や故障を防ぐために定期的にお手入れしてください。

❗ お願い

- お手入れをするときは、必ず本体の  またはリモコンの  を押して運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜く。
内部でファンが高速回転しているので、けがの原因になることがあります。また、感電のおそれがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜く。
電源コードを引っ張って抜くと、電源コードの内部が断線して発熱・発火の原因になります。
- 本体の移動は運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いて、内部の水を捨ててから行う。
また、引きずって移動しない。
けが、水もれまたは床を傷つける原因になります。
- シンナー、アルコール、ベンジン、アルカリ性・酸性の強い洗剤、漂白剤などは使用しないでください。
- 長期間(1 か月以上)使用しないときは、リモコンの乾電池を取り外す。
- エアフィルターのお手入れはこまめに行う。
エアフィルターにほこりが詰まると風量が減少し、能力が低下します。
また、エアフィルターを外したまま運転をすると内部にごみが付着し、故障の原因になります。必ずエアフィルターを取り付けてお使いください。

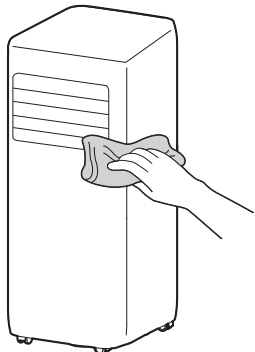
関連ページ

- [本体 P52](#)
- [エアフィルター P53](#)
- [長期間使用しないときは P54](#)

本体

水またはぬるま湯(40℃以下)を含ませた柔らかい布をよく絞って、汚れを拭き取る

※汚れが落ちにくいときは、薄めた中性洗剤を含ませた布で拭いた後、固く絞った布などで洗剤を拭き取ってください。



❗ お願い

- 水をかけないでください。感電・けが・故障の原因になります。
- 化学ぞうきんを使用する際は、その注意書きにしたがってください。

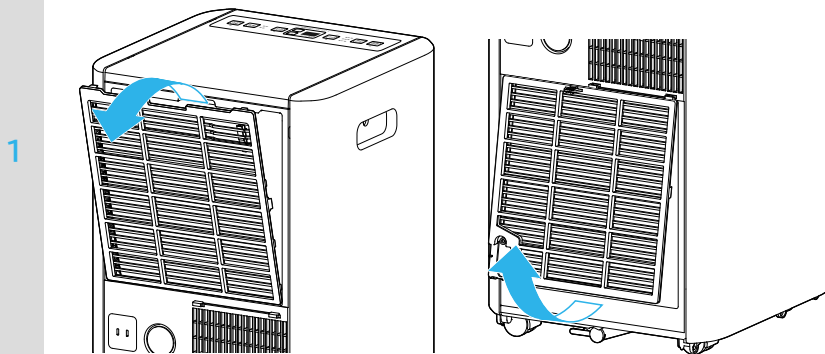
エアフィルター -2 週に 1 回程度-

エアフィルターが汚れていませんか？

- ・ エアフィルターを掃除してください。
エアフィルターが汚れていると、冷気が内部にこもり水滴が漏れる原因となります。

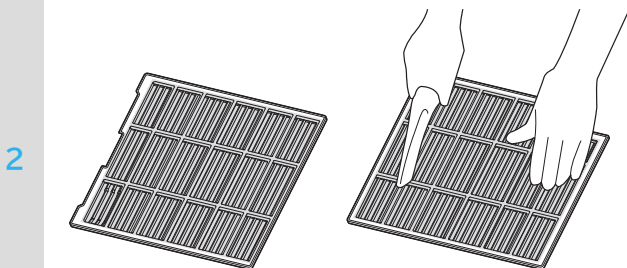
運転を停止し、電源プラグを抜いてください。

吸込口と吸気口のエアフィルターを本体から取り外す



掃除機などでほこりを吸い取る

- ・ エアフィルターにほこりがたまると、空気の通りが悪くなり、冷風効果が低下します。



通常時:掃除機でほこりを吸い取る

汚れがひどいとき:水洗いする

※水洗いしたあとは、よく乾かしてから取り付けてください。

掃除が終了したら、エアフィルターを取り付けてください。

長期間使用しないときは

- ・ 電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・ [エアフィルター-2 週に 1 回程度- P53](#) を参照してお手入れの上、取付けて保管してください。
- ・ 内部の水は下部排水口から排水してください。(→ [下部排水口から排水 P59](#))
- ・ 排気ダクトは取り外し、本体をビニールカバーなどで覆ってください。
- ・ リモコンから乾電池を取り出してください。(→ [リモコンに乾電池を入れる P23](#))
- ・ 湿気の少ない、風通しのよい場所で保管してください。

こんなときは 故障かな？と思ったら

■ポータブルクーラーに関するよくあるお問い合わせ

<https://www.irisohyama.co.jp/support/faq/categori.php?ID=68>

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点を確認してください。

ー運転しない

→電源プラグはコンセントに確実に差し込まれていますか？

電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。

→電源が切になっていませんか？

本体の  またはリモコンの  を押してください。

→お部屋が暑すぎる、もしくは寒すぎる

冷風・除湿運転時は、室温が高温もしくは低温の場合に製品保護のため、冷風運転が自動で送風運転に切り替わる、または運転を停止することがあります。

室温が常温になると、送風運転が自動で元の運転(冷風・除湿運転)に切り替わります。

運転を停止した場合は、自動的に運転の再開はしません。

ー停止直後に再運転すると冷風がでない

→電源を入の状態の数分お待ちください

本体内部の保護機能がはたらき、3 分程度冷風が出ない場合があります。

ー運転モード変更直後に冷風が出ないことがある

→その状態で数分お待ちください

運転モードの切り替えを行っています。異常ではありません。

— 冷えが悪い

→エアフィルターが汚れていませんか？

エアフィルターを掃除してください。(お手入れ「[エアフィルター P53](#)」)

→冷風運転、除湿運転のときは、他の熱源を取り除いてください

→排気ダクトや窓パネルが正しく取り付けられていますか？

排気ダクトや窓パネルが正しく取り付けられているかご確認ください。(設置する [P24](#)、窓パネルの組み立てと取付け [P27](#))

→吹出口や吸込口・排気口がふさがっていませんか？

ふさいでいるものを取り除いてください。窓パネルのシャッターを開けてください。

→コンセントは単独で使用してください

単独で使しないと電圧が低下することがあります。

— 音がする

→運転直後「シューツ」という音がすることがあります

異常ではありません。本体内部の冷媒が流れる音です。

→運転の開始または停止時に「ピシピシ」と音がすることがあります

異常ではありません。プラスチックの熱膨張、熱収縮による音です。

→本体内部でコンプレッサーが作動しています

振動と共に音を発しますが、異常ではありません。

また、常時作動しているわけではなく、急に作動することもあります。異常ではありません。

→排気ダクトや窓パネルが正しく取り付けられていますか？

排気ダクトや窓パネルが確実に取り付けられていないと、音が大きくなる場合があります。(設置する [P24](#)、窓パネルの組み立てと取付け [P27](#))

ー 運転音が大きい

→不安定な場所に設置していませんか？

正しく設置してください。([設置する P24](#))

→エアフィルターや排気ダクトが正しく取り付けられていますか？

正しくエアフィルターや排気ダクトを取り付けてください。共振により音の原因になります。

ー 風がにおう

→運転中に吹き出す風がにおうことがあります

本体やエアフィルターをお手入れしてください。(お手入れ「[本体 P52](#)」、「[エアフィルター P53](#)」)

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店にご相談ください。

もしご購入店に依頼できない場合(引っ越しや贈り物など)は、[アイリスコール P68](#) (☎ [電話をかける](#))へお問い合わせください。

❗ お願い

ご自分で分解・修理・改造しないでください。

関連ページ

- ・ [お問い合わせ P68](#)

エラー表示がでたら

下記英数字コードはエラー表示です。

英数字コード	原因・処置
	ドレン水が満水になっています。 下部排水口から排水を行ってください。(下部排水口から排水 P59) 頻繁にエラー表示する場合、上部排水口から排水を行ってください。(上部排水口から排水 P60)
	本体内部の異常を検知しています。運転を停止して、電源プラグをコンセントから抜き、30 分以上待ってから電源プラグを差し直してください。 直射日光が当たる場所に設置してある場合は、直射日光が当たらない場所に移動させてください。延長コードを使用している場合は、電源プラグをお部屋に備え付けのコンセントに差し直してください。
	室内温度センサーの異常を検知しています。運転を停止して、電源プラグをコンセントから抜き、30 分以上待ってから電源プラグを差し直してください。 直射日光が当たる場所に設置してある場合は、直射日光が当たらない場所に移動させてください。
 または	配管温度センサーの異常を検知しています。運転を停止して、電源プラグをコンセントから抜き、30 分以上待ってから電源プラグを差し直してください。 直射日光が当たる場所に設置してある場合は、直射日光が当たらない場所に移動させてください。
	過熱防止保護装置がはたらいています。運転を停止して、電源プラグをコンセントから抜き、30 分以上待ってから電源プラグを差し直してください。 排気口周辺に排熱を妨げるものがあれば、取り除いてください。 延長コードを使用している場合は、電源プラグをお部屋に備え付けのコンセントに差し直してください。

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店、または [アイリスコール P68](#) (☎ [電話をかける](#)) へお問い合わせください。

関連ページ

- ・ [お問い合わせ P68](#)

下部排水口から排水

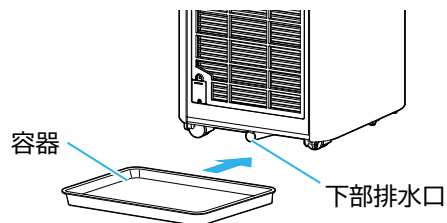
排水についての詳細は、当社 WEB サイト内の動画でもご確認ください。



<https://youtu.be/NSqG6o4CuVo>

容器を用意して、下部排水口の下に置く

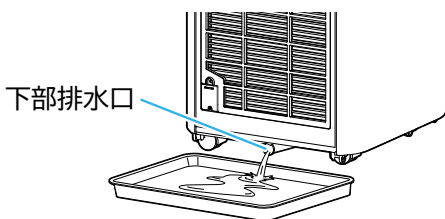
1



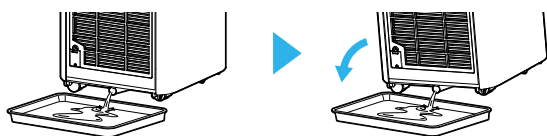
下部排水口から下部排水ゴム栓を取り外して排水する

2

！お願い



- ・ 排水しても、本体表示部に「H8」が表示されて運転できない場合は、本体を後方に傾けて排水してください。(容器内の水を一度捨ててから傾けてください。)



- ・ ドレン水が容器からあふれないように注意してください。

3 排水後は下部排水ゴム栓を取り付ける

上部排水口から排水

排水についての詳細は、当社 WEB サイト内の動画でもご確認ください。



<https://youtu.be/NSqG6o4CuVo>

冷風運転・除湿運転時に頻繁に満水表示(「H8」エラー)する場合

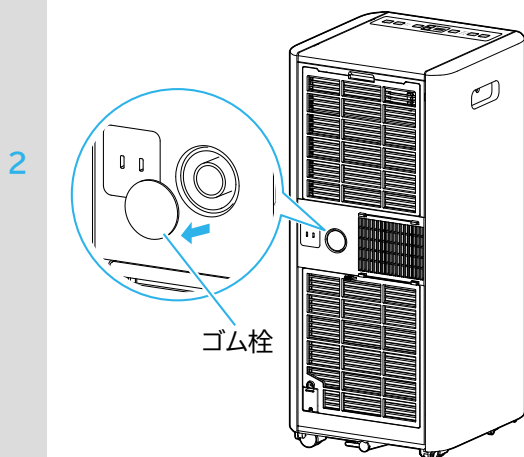
排水時のご注意

- ・ 運転した後にゴム栓を取り外すと、中に残っている水がこぼれることがあります。
- ・ 排水の容器の水量や排水ホースの外れ等を確認してください。
- ・ 就寝時など、長時間容器の水量を確認できない時は、上部排水口から排水をしないでください。
- ・ 排水ホースの折れ曲がりや落差などに注意してください。

1 付属品の排水ホースを準備する

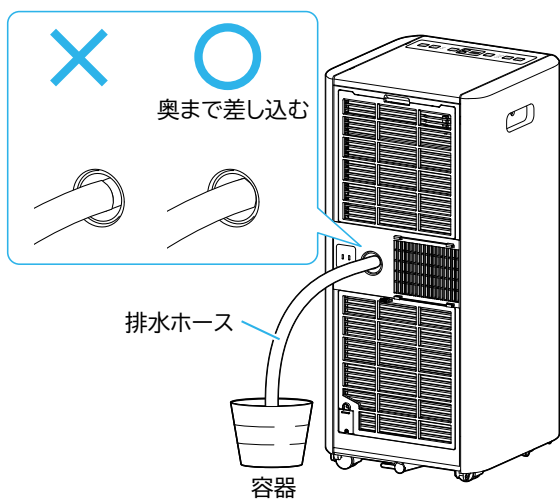
上部排水口のゴム栓を取り外す

- ・ 運転した後にゴム栓を取り外すと中に残っている水がこぼれるおそれがあります。



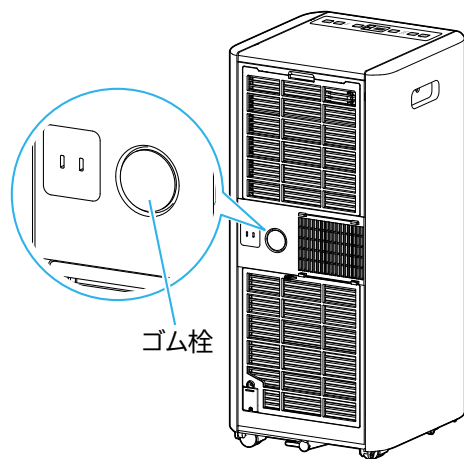
上部排水口に排水ホースを取り付ける

- 3
- ・ 排水ホースは奥まで取り付けてください。
- ・ 容器に上部排水口から排水してドレン水をためるときは、容器のドレン水量をこまめに確認してください。ドレン水が容器からあふれて床をぬらす原因になります。



上部排水口からの排水を止めるときは、排水ホースを取り外し、ゴム栓を取り付ける

- ・ ゴム栓を取り付けないと床や家財をぬらす原因となります。



アフターサービスとその他の内容

長期使用製品について

経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた以下の内容を、製品本体に表示しています。

【製造年】 本体ラベルに記載

	※【設計上の標準使用期間】9 年 設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。
---	--

ー 設計上の標準使用期間について

- 標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から、安全上支障なく使用することができる標準的な期間のことです。
- 無料修理を行う保証期間や、補修用性能部品の保有期間とは異なります。

標準的な使用条件(JIS C 9921-3 に基づく)

		冷風
環境条件	電源電圧	単相 100V
	周波数	50/60Hz
	温度(室内)	27℃(乾球温度)
	湿度(室内)	47%(湿球温度:19℃)
	設置条件	標準的な設置
負荷条件	住宅	木造平屋、南向き和室、居間
	部屋の広さ	製品能力に見合った広さの部屋
想定時間	1 年間の使用日数 (東京モデル)	6 月 2 日から 9 月 21 日までの 112 日間
	1 日の使用時間	9 時間/日
	1 年間の使用時間	1,008 時間

設置状況や環境、使用頻度が上記の条件と異なる場合、または、本来の使用目的以外でご使用された場合は、設計上の標準使用期間より短い期間で経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

仕様

型番	IPK-2805U
電源	AC100V 50/60Hz
冷風能力	2.5/2.8kW
消費電力	900/1050W
冷風運転電流	11.0/10.5A
冷媒	R32
冷媒封入量	215g
コード長さ	約 1.8m
製品寸法(本体)	幅 315×奥行 313×高さ 699mm
質量	24.5kg
電流ヒューズ	AC250V, 2A

※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

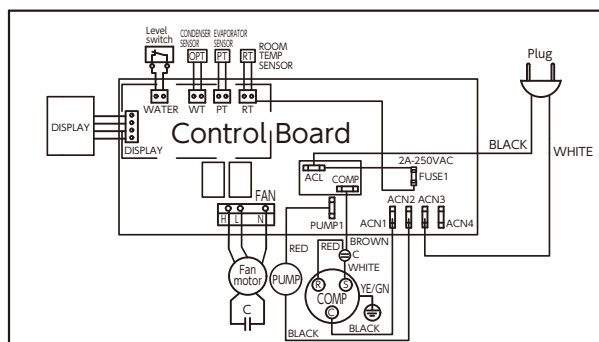
冷風能力については当社自主基準の下記条件で測定した値です。

(1) 冷風能力は、空気条件 30℃、相対湿度 70%強運転時の値です。

(2) 「/」で示されている値は左側が 50Hz、右側が 60Hz の値です。

なお、使用環境や使用状況により商品の性能が異なる場合があります。

電気配線図



電気配線図は予告なく変更することがあります。

電源コードが破損した場合、コードの交換は危険を防止するために、必ずお買い上げの販売店または[アイリスコール P68](#) (☎ [電話をかける](#))にご依頼ください。

廃棄について

- 本製品は、特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)の適用製品ではありません。
- 廃棄する場合は、フロン類の回収、運搬、廃棄の料金が必要になります。使用者ご自身の負担により、専門の回収業者(登録制)に委託し、適切に処理してください。
- 製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

保証とアフターサービス

—保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。
保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

—保証期間

保証期間は、保証書に記載されています。

保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

—保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または[アイリスコール P68](#)(☎ [電話をかける](#))にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

—補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、9 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

—アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店または[アイリスコール P68](#)(☎ [電話をかける](#))にお問い合わせください。

保証規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
2. 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
3. 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
4. ご転居や贈答品などで保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、[アイリスコール P68](#) (☎ [電話をかける](#))にお問い合わせください。
5. 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - ① 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - ② お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - ③ 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - ④ 一般家庭用以外(たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など)に使用された場合の故障及び損傷
 - ⑤ お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
 - ⑥ 保証書の提示がない場合
 - ⑦ 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
6. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
7. 保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

冷媒に関する注意



この製品には、GWP(地球温暖化係数)が 675 のフロン類(R32)が封入されています。

地球温暖化防止のため、廃棄する場合フロン類の回収、運搬、廃棄の料金が必要になり、使用者ご自身の負担により、専門の回収業者に委託し、適切に処理していただく必要があります。ご不明な点は、お住まいの地方自治体の窓口を確認をお願いいたします。

お問い合わせ

使いかた・お手入れ・修理についてはこちら

●まず、お買い上げの販売店にご相談ください。もし購入店に依頼できない場合(引っ越しや贈り物など)は、以下の窓口にお問い合わせください。

アイリスコール:[0800-919-0770](tel:0800-919-0770)(通話料無料)

平日・土日祝日 9:00～17:00 (年末年始・夏季休業期間・会社都合による休日を除く)

- ・ お問い合わせの際は、製品の型番をお調べいただき、取扱説明書・ご購入履歴のわかるもの・メモのご用意をお願いします。

お客様サポートはこちら



<https://www.irisohyama.co.jp/support/>

製品の最新情報はこちら

<https://www.irisohyama.co.jp/>